

ハ°ルオシダ°セ°染色		214000	
PODstain		担当部署	
		血液	
検査オーダー			
患者同意に関する要求事項		特記事項なし	
オーダー手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→	
	2		
	3		
	4		
	5		
検査に影響する臨床情報		<ul style="list-style-type: none"> ・固定が不十分だと赤血球が溶血し見にくい標本になる ・固定液の劣化していると陽性顆粒がきれいな顆粒状を呈さない 	
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00	
検体採取・搬送・保存			
患者の事前準備事項		特記事項なし	
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし	
検体の種類	採取管名	内容物	採取量 単位
1 全血	1 紫	EDTA-2K	2 mL
2 骨髓	B M院内用	EDTA-2K	1 mL
3			
4			
5			
6			
7			
8			
検体搬送条件		室温	
検体受入不可基準		<ul style="list-style-type: none"> 1) 採取容器違いの検体 2) 凝固検体 3) 採血量不足の検体 4) サンプルングできない検体 	
保管検体の保存期間		室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）	

検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		1～7 日				
生物学的基準範囲		(-) 顆粒球系の細胞は陽性を示し、リンパ球系の細胞は陰性を示す。 EX 共通 CL1141 : 「臨床検査法提要 改訂第 35 版」				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		PO 反応は骨髓系細胞とリンパ系細胞の鑑別に利用されている。特に AML の診断には必須であり、FAB 分類では病的芽球の 3%以上を AML の診断基準にしている。 EX 共通 CL1084 : 「三輪血液病学 2006」265				